製品安全データシート

［混合物用（塗料用）］

整理番号　TYM-01-05

1.製品及び会社情報	**製品名**	セトールノバテック(各色)		
	製品説明	**種　　類**　：アルキド樹脂系塗料 **主な用途**　：屋外木部塗装		
	会社名	トーヨーマテリア株式会社		
	住所	〒107-8320　東京都港区赤坂7－6－38		
	担当部門	シッケンズ課	**作成・改定**	2007.05.15
	電話番号	03-5563-8267	**FAX番号**	03-5563-8270
	緊急連絡先	担当部門に同じ	**電話番号**	担当部門に同じ

2.危険有害性の要約

【GHS分類】

引火性液体		:	区分3
急性毒性	経口	:	区分外
	経皮	:	区分外
	吸入	:	分類できない
皮膚刺激/腐食性		:	分類できない
眼損傷/眼損傷性/眼刺激性		:	分類できない
呼吸器感作性/皮膚感作性		:	分類できない
生殖細胞変異原性		:	区分外
発がん性		:	区分外
生殖毒性		:	分類できない
特定標的臓器/全身毒性	（単回暴露）	:	分類できない
特定標的臓器/全身毒性	（反復暴露）	:	分類できない
吸引性呼吸器障害性		:	区分外
水性環境有害性	（急性）	:	区分外
水性環境有害性	（慢性）	:	区分外

【GHSラベル要素】

［絵表示］

［注意喚起後］　**警　告**

［有害性］

・引火性液体及び蒸気

［予防策］

・容器を密閉しておくこと。　・火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。

・保護手袋/保護眼鏡/保護マスク/保護衣を着用すること。

・静電気放電や火花による引火を防止すること。

・防爆形の電気機器/換気装置/照明器具/工具を使用すること。　・容器を接地すること。

［応急処置］

・火災の場合は適切な消火方法をとること。

［保管］

・容器を密閉し涼しく換気の良い場所で保管すること。

・火気から遠ざけて保管すること。

［廃棄］

・内容物や容器は都道府県の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に廃棄を委託すること。

3.組成及び成分情報

成分及び含有量　（危険有害物質を対象）

成分名	CAS No.	含有量（%）	備考
ミネラルスピリット	64742-47-8	30 ～ 40%	
赤色酸化鉄	1309-37-1	0 ～ 1%	
カーボンブラック	1333-86-4	0 ～ 1%	
ジクロフルアニド	1085-98-9	0 ＜ 1%	
エチレングリコール	107-21-1	0 ＜ 1%	

4.応急処置

眼に入った場合

☆ 直ちに大量の清浄な水で15分以上洗う。まぶたの裏まで完全に洗うこと。
☆ できるだけ早く医師の診断を受けること。

皮膚に付着した場合

☆ 付着物を布で素早く拭き取る。
☆ 大量の水及び石鹸又は皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。
溶剤、シンナーなどは使用しないこと。
☆ 外観に変化が見られたり、痛みがある場合には医師の診断を受けること。

吸入した場合

☆ 蒸気、ガスを大量に吸い込んだ場合には、直ちに空気の新鮮な場所に移し、暖かくして安静にする。呼吸が不規則、又は止まっている場合には人工呼吸を行う。
嘔吐物は飲み込ませないようにする。直ちに医師の手当てを受ける。
☆ 蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の新鮮な場所で安静にし、医師の診断を受けること。

飲み込んだ場合

☆ 誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受けること。
☆ 嘔吐物は飲み込ませないこと。
☆ 医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

5.火災時の措置

使用可能消火剤

水［　］、炭酸ガス ［○］、泡［○］、粉末［○］
乾燥砂［○］、その他［　　］

消火方法

☆ 水を消火に用いてはならない。
☆ 適切な保護具（耐熱性着衣など）を着用する。
☆ 可燃性のものを周囲から素早く取り除く。
☆ 指定の消火剤を使用すること。
☆ 高温にさらされる密閉容器は水をかけて冷却する。
☆ 消火活動は風上から行う。

6.漏出時の措置

☆ 付近の着火源、高温体及び付近の可燃物を素早く取り除く。
☆ 着火した場合に備えて、適切な消火器を準備する。
☆ 衝撃、静電気にて火花が発生しないような材質の用具を用いて回収する。
☆ 作業の際には、適切な保護具（手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等）を着用する。
☆ 乾燥砂、土、その他の不燃性のものに吸収させ、大量の場合は、盛り土で囲って流出を防止する。
☆ 漏出物は、密閉出来る容器に回収し、安全な場所に移す。
☆ 河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。
☆ 付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置すること。

7.取扱い及び保管上の注意

取扱上の注意

☆ 換気の良い場所で取り扱う。
☆ 容器はその都度密栓する。
☆ 周囲で、火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。
☆ 静電気対策のため、装置等は接地し、電気機器類は防爆型（安全増）を使用する。
☆ 工具は火花防止型のものを使用する。
☆ 作業中は、帯電防止型の作業服、靴を使用する。
☆ 使用済みウェス・塗料カス・スプレーダストなどが積み重なると自然発火する恐れがあるので、廃棄するまで水につけておくこと。
☆ 皮膚、粘膜又は着衣に触れたり、眼に入らないよう適切な保護具を着用する。

☆ 取り扱い後は、手、顔などを良く洗い、休憩所等に手袋等の汚染保護具を持ち込まないこと。
☆ 密閉された場所おける作業には、十分な局所排気装置を付け、適切な保護具を付けて作業すること。
☆ 温度が高くなると引火性があるので注意する。火気のある所では取り扱わないこと。

保管上の注意
☆ 日光の直射を避ける。
☆ 通風の良いところに保管する。
☆ 火気、熱源から遠ざけて保管する。

8.暴露防止及び保護措置

組成物質の有害性及び暴露濃度基準

物質名	管理濃度	ACGIH(TLV)	IARC	その他有害性
ミネラルスピリット				
赤色酸化鉄		5mg/㎥	3	
カーボンブラック		3.5mg/㎥	2B	
ジクロフルアニド		2.5mg/㎥		
エチレングリコール		C100mg/㎥		

組成物質に関する有害性情報
特になし

製品に関する有害性情報
特になし

設備対策
☆ 取り扱い設備は防爆型を使用する。
☆ 排気装置を付けて、蒸気が滞留しないようにする。
☆ 液体の輸送、汲み取り、攪拌などの装置についてはアースを取るように設備する。
☆ 取扱場所の近くには、高温、発火源となるものが置かれないような設備とすること。
☆ 屋内塗装作業の場合は、自動塗装機等を使用するなど作業者が直接暴露されない設備とするか、局所排気装置等により作業者が暴露から避けられるような設備とすること。
☆ タンク内部なとの密閉場所で作業する場合には、特に底部まで充分に換気が出来る装置を取り付けること。

保護具		
	眼の保護	☆ 保護メガネを着用する。
	皮膚の保護	☆ 有機溶剤又は化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。
	呼吸器系の保護	☆ 有機ガス用防毒マスクを着用する。 ☆ 密閉された場所では送気マスクを着用する。
	その他の保護具	☆ 静電塗装を行う場合には、通電靴を着用する。

9.物理的及び化学的性質

状態	: 液体		
色	: 各色	臭気	: 溶剤臭あり
沸点	: 178-194℃	蒸気圧	:
密度(比重)	: 0.96	pH値	: 該当せず

その他
特になし

10.安定性及び反応性

製品特性	引火点 : 55 ℃ 発火点 : ℃	
	爆発限界 : (下限) % (上限) %	
反応性 安定性	**接触により危険性のある物質** 酸化剤	
	燃焼などによる有害性ガスの発生 CO等の有害ガスを発生する恐れがある。	

その他の反応性情報

使用中の樹脂は空気中の酸素により酸化反応を起こす。

その他の危険情報

特になし

11.有害性情報

組成物質の健康有害性情報 （危険有害物質を対象）

	急性毒性			
	経口	**経皮**	**吸入（蒸気）**	**吸入（粉塵、ミスト）**
ミネラルスピリット	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない
赤色酸化鉄	分類できない	分類できない	分類対象外	分類できない
カーボンブラック	区分外	分類できない	分類対象外	分類できない
ジクロフルアニド	区分4	区分3	分類できない	分類できない
エチレングリコール	区分5	区分外	分類対象外	分類できない

	皮膚腐食・刺激	**眼損傷・刺激**	**呼吸器感作性**	**皮膚感作性**
ミネラルスピリット	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない
赤色酸化鉄	区分2	区分1	分類できない	分類できない
カーボンブラック	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない
ジクロフルアニド	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない
エチレングリコール	区分3	区分2B	分類できない	分類できない

	生殖細胞変異原性	**発がん性**	**生殖毒性**
ミネラルスピリット	分類できない	分類できない	分類できない
赤色酸化鉄	分類できない	区分外	分類できない
カーボンブラック	分類できない	区分2	分類できない
ジクロフルアニド	分類できない	分類できない	分類できない
エチレングリコール	区分外	区分外	区分1B

	特定標的臓器（単回）	**特定標的臓器（反復）**	**吸引性呼吸器**
ミネラルスピリット	分類できない	分類できない	分類できない
赤色酸化鉄	区分3（気道刺激性）	区分1（呼吸器系）	分類できない
カーボンブラック	分類できない	分類できない	分類できない
ジクロフルアニド	分類できない	分類できない	分類できない
エチレングリコール	区分1（中枢神経系、腎臓、心臓、呼吸器）	区分1（中枢神経系、心臓、呼吸器）	分類できない

12.環境影響情報

☆ 漏洩、廃棄などの際には環境に影響を与える恐れがあるので取り扱いに注意する。
特に、製品や洗浄水が地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

13.廃棄上の注意

☆ 廃塗料、容器の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をする。
☆ 容器、機械装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。
☆ 排水処理、焼却などにより発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理を行うか、処理を委託すること。
☆ 廃塗料などを焼却する場合には、珪藻土に吸着させて、開放型の焼却炉で少量ずつ焼却する。
☆ 塗料製品、廃塗料及び焼却灰などは、特別管理産業廃棄物に該当することがあるので、廃棄はこの法規に準じて行うこと。
☆ 廃棄物を焼却処理する場合には、有毒ガスを発生するため、適切な除却装置のある焼却炉を使用すること。

14.輸送上の注意

共通
☆ 取扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。
☆ 容器漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行うこと。

陸上輸送
☆ 消防法・労働安全法・毒劇物取締法に該当する場合は、法令の定めるところに従うこと。

海上輸送
☆ 船舶安全法に定めるところに従うこと。

航空輸送
☆ 航空法に定めるところに従うこと。

	国連番号　1263　英文(UN number 1263) **指針番号**　128
15.適用法令	☆ 労働安全衛生法　危険物　:　引火性のもの ☆ 消防法　第4類第2石油類 ☆ 有機溶剤中毒予防規則　第三種有機溶剤 ☆ 船舶安全法　高引火点引火性液体
16.その他の情報	**主な引用文献** ☆ (社)日本塗料工業会編　「原材料物質データベース」 ☆ (社)日本塗料工業会編　「GHS対応MSDS・ラベル作成ガイドブック 暫定版」

[注意]
危険、有害性の評価は必ずしも十分ではありませんので、取り扱いには十分ご注意下さい。